

医療マスク1000枚使って



今井裕一院長にマスクを手渡す清水俊宏社長(左)
＝多治見市役所

バローHDとアクトス多治見市民病院に寄贈

(多治見市、田代正美会長兼社長)と、バローグループで会員制スポーツクラブを展開するアクトス(可児市、清水俊宏社長)が、多治見市民病院に医療用マスク千枚を寄贈した。

清水社長によると、アクトスは10年前に新型インフルエンザが流行した時に医療用マスクを確保。今回は従業員や利用客のためにスポーツクラブ各店舗に200～300枚ほど備蓄して

多治見市役所で贈呈式があり、清水社長は「医療機関で医療用マスクの不足が問題になっていると聞いた」田代会長兼社長は「新型コロナウイルスが一日でも早く終息し、スポーツクラブが営業再開できるようになれば」と、それぞれ思いを口にした。

マスクを受け取った同病院の今井裕一院長は「マスクの寄贈は大変ありがた

い。感染症に対応している現場で使いたい」と感謝した。(山本貴史)